

2. 参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針

①健康・福祉

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
医療	1	日赤病院を市内の人がもっと入院できるようにしてほしい(通院してもダメ)。	日赤は高度な医療技術を持った基幹的な病院です。市民専用の病院ではありませんが市としても様々な場面で支援してきました。その結果、現在市民用の病床として230床を優先枠として確保しています。ただし、この優先枠は地元のかかりつけ医師を通してご利用いただく形になっています。
	2	日赤は近くの病院で、本当に大切な存在です。	
	3	東京都目黒区のように、高齢者への肺炎ワクチン接種助成制度のスタートを希望します(日経新聞2月7日夕刊)。	多くの肺炎は肺炎球菌が原因で、高齢者が肺炎球菌性肺炎にかかった場合に治りにくく重症化するケースが多くなっています。肺炎球菌ワクチン接種につきましては、2回目の接種をすると注射部位の局所反応が強く現れることがあり1回しか接種できません。高齢者の接種記録をどうするかなど、今後方法等も含め検討してまいります。
健康増進	1	健康と福祉(の充実)	本年3月に策定した福祉総合計画に基づき、保健・医療・福祉を連携して、健康と福祉施策の充実を図ります。 また、平成16年に策定された武蔵野市健康推進計画には生活習慣病の予防、運動による高齢者の活力アップが重点的施策として掲げられ、そのために健康づくり支援センターを平成17年7月に開設いたしました。健康増進に関する情報を総合的に提供する同センターを拠点に、健康づくり推進員・人材バンク・普及員とセンターが一丸となり、各種啓発活動や出前講座の実施、健康づくり活動情報誌を作成配布するなどの取組を行い健康なまちづくりを推進しております。
	2	高齢化に伴い、もっと体を動かしていける健康づくりのための施設が欲しい。中央部に集中していると思うので。	総合体育館や高齢者総合センターを高齢者の健康づくりの基幹拠点施設として位置づける一方、コミュニティセンターや民間のスポーツクラブなど地域の資源を活用して、これまで健康づくりの様々な事業を地域で展開しております。 さらに、公共施設の偏在をカバーできるような事業運営を検討するほか、どの地域にどの施設が不足しているかは個別計画や調整計画等で検討していきます。
高齢者福祉	1	高齢者福祉(の充実)について	福祉総合計画に基づき推進してまいります。
	2	高齢者の認知症予防(の充実)について	

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
高齢者福祉	3	認知症予防についての研究事業がありますが、どのくらいの費用がかかっているのでしょうか？そして、その成果が、高齢者にどのように反映されるのでしょうか？研究事業よりも、現在積極的に外に出られない高齢者のための認知症予防策を充実していただけたらと思います。	学際的研究事業は、平成16年度より20年度までの5年間の予定で実施しており、単年度の事業費は、平成16年度決算で30,426千円(内21,236千円が国都補助金)でした。しかし、今後国都補助金がなくなることや、他自治体において一定程度の研究結果が得られたことなどから、平成18年度から「研究」の部分は中止し、認知症相談・啓発事業と、認知症予防教室を中心とした事業として充実させ、希望する高齢者が参加できるよう実施してまいります。
	4	介護予防の施策について、より具体的に知りたいです。	市では、これまで「高齢者食事学事業・浴場開放事業・社会活動センター事業(高齢者総合センター)・健康講座・骨粗しょう症予防事業・健康増進運動指導・筋力向上事業・機能訓練事業・歯科健康診査」などの事業を実施してまいりました。平成18年度の介護保険制度の改正にあたり、これらの事業を地域支援事業として、継承してまいります。
	5	高齢者が、自由に集まって、おしゃべりや好きなことをして過ごせる場所を、空き店舗などを利用して作ってほしいと思います。設備等は不要と思いません(健康な高齢者は、時間を持て余しています)。	市には、市民が自由に使える市民施設として、各地域にコミュニティセンターが設置されています。それ以外にも、現在、各テンミリオンハウスや、吉祥寺北町の「ふれあいまつもと(※)」などがご利用いただけます。 また、富士見通りには商店会連合会が主催し、商店会が運営する商店街活性化のための施設、コミュニティスタジオ「ハートランド富士見」があります。お買い物や散歩の際に気軽に休憩などの利用ができる(無料)ようになっています。また、お申込をいただいて団体利用(運営維持協力金として1人100円)ができます。 空き店舗を活用した高齢者の拠点づくりについては、商店会の考え方も考慮する必要がありますので、調整計画を策定する中で研究してみたいと考えます。
	6	武蔵野市が、全国に先立って始めた福祉公社の運営状況(現況)を知りたいと思います。なぜ今回、ニュースになるような多額の税金不払い問題を起こしたのですか？みっともないと思いませんか？能力不足の公務員が揃っているのですか？7,700万円が9,800万円に加算されたそうですね。	財政援助出資団体の経営状況は個別に経営目標を定めて評価を実施しており、また市のホームページ等で結果の公表をしております。福祉公社には今後も信頼を失うことのないように事務処理を的確に行うことを指導してまいります。

(※)「ふれあいまつもと」…市内在住60歳以上の方を対象とした高齢者の地域交流の場で、高齢者総合センターが運営しています。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
介護保険	1	4月から介護保険制度が変わるといわれていますが、どのように変わるのでしょうか。介護予防とは？地域包括支援センターとは？いろいろ耳にしますが、武蔵野市独自の政策があるのか、できるのか、詳しいことをもっと事前に知らせて欲しいと思います。	3月15日、4月1日、4月15日発行の市報で特集記事を掲載するほか、4月下旬に市内3箇所です市民説明会を開催します。境・境南町地区では、4月18日午前中に市民会館で開催しました。
	2	・4月から介護保険の制度・内容(仕組みなど)が変わるそうですが、どんなふうになるのか、内容を知らせてもらっていないと思います(私が知らないだけですか)。何らかの方法で知らせてください。 ・地域包括支援センターというものができそうですが、どういうものですか。	
	3	4月から介護保険制度が変わることにより、「日赤介護支援センター」が、「桜堤介護支援センター」のランチに位置づけられると聞きました。日赤支援センターも、現存する他のセンターも総て「包括支援センター」としてくださるよう努力してください。	平成18年4月の制度改正時から当面は、市内3箇所の在宅介護支援センターに地域包括支援センターを設置しますが、他の在宅介護支援センターにも設置するかどうかは、利用状況等の推移を見極め、今後検討します。また、境南地区の相談についてはこれまでどおり武蔵野赤十字在宅介護支援センターが担当します。
	4	18年度からの介護保険の見直しでは、日赤の地域在宅支援センターの位置づけが変わると聞きましたが、どうなるのですか。また、従来の武蔵野方式についてはどうなるのでしょうか。	
	5	介護保険の制度が変わり、日赤介護支援センターの位置づけについて	
	6	今回の介護保険制度改正について、内容と意味の説明会を開催して欲しい。境南町の場合、日赤在宅介護支援センターとの信頼関係が深く、ケアプラン等安心しておまかせしていたのに、包括支援センターができることにより、サービスの低下ではと懸念されます。	3月15日、4月1日、4月15日発行の市報で特集記事を掲載するほか、4月下旬に市内3箇所です市民説明会を開催します。境南町地区では、4月18日午前中に市民会館で開催します。また、境南地区の相談については、これまでどおり武蔵野赤十字在宅介護支援センターが担当します。
	7	介護保険でサービス切捨てはしないで下さい。	急速な高齢化の進展と介護サービスの需要拡大を見据るとともに、介護・年金・医療などの各制度間の調整を図り、効率的・効果的なサービスの提供を行ってまいります。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
障害者福祉	1	障害者自立支援法の利用者負担について、東京都ではホームヘルパー利用負担軽減を決め、他の区でも軽減を予定しているようですが、武蔵野市はどう取り組むのでしょうか。	本市でも利用者の経済的負担を軽減するため、東京都の制度を活用するほか、市独自の制度も新設して、ホームヘルパーの利用料負担、社会福祉法人減免の事業者負担補助など低所得者の軽減や施設通所者の食費の人件費を補助することにより食費のみの負担とします。
	2	障害者自立支援法に関する要望	
	3	ライフサポートMEWの支援をしてほしい。	市の委託事業であり従来どおりの支援を行います。
	4	精神障害者の社会的入院を減らすため、国は10年間で7万2千人の退院を促すと言っています。武蔵野市は大雑把に言って、1/1000の人口なので、72人が地域生活に移行します。そのときの受け皿(グループホーム・地域ケア事業)を準備してください。	障害のある人も地域で生活ができるよう昨年の10月にグループホームを開設しましたが今後ともサービス基盤の整備に努めます。
	5	サウンドテーブルテニス(視覚障害者卓球) テーブル長さ274、幅152、床上76、テーブルの上面は木質で作り、ボールを転がしていく競技です。視覚障害者を中心に、高齢者、認知障害、肢体不自由者、知的障害者の方々に活動の場として作ってほしい。	障害者福祉センターで視覚障害者の卓球講座を実施していますが、他の障害者も対象とするかどうかは今後検討します。
地域福祉	1	引きこもり、NEETについて 1,636,000人 引きこもり数(推計) 引きこもり支援に関する責任窓口がなく、当事者家族にとって、必要な情報や支援がいきわたらない。武蔵野市として、今後どのような対応を考えておられますか。	現在、社会問題となっているニートは、個人ごとに異なるさまざまな原因が複合して起こると言われています。この対策は、国や都などで検討されていますが、市としましても、関連部署が連携をとりながら、情報提供を行うとともに、どのようなサポートができるかを研究してまいります。
	2	市民社協(ボランティアセンターや福祉公社を含む)を、アクセスの良い場所に。例えば、スイングとか武蔵野プレイスに。	市民社協に使用している建物は賃貸借契約期間内であり、設置場所を移転することは全市的な意見調整が必要となります。なお、武蔵野プレイス(仮称)は図書館機能を中心とする知的創造拠点として建設していきます。したがって、市民社協を施設内に移す予定はございません。
	3	市内には外国人留学生が多くいます。特に、アジアからの留学生は生活に困る人が多く、アルバイトに多くの時間をとられているのが現状です。留学生の生活支援・相談窓口の開設等、工夫できないでしょうか。	本市では、昭和63年頃の急激な円高を契機に、外国人留学生への奨学支援金を支給してきましたが、もはや制度的使命を終えたと考え、平成16年度限りで廃止しました。国際交流協会では、留学生の相談窓口になっているほか、市内の家庭と家族ぐるみで交流できるようなプログラムを実施し、100人を超える留学生が参加しています。また、外国人の生活支援のための便利帳を作成するにあたり、留学生の方にも参加していただく取り組みも行っています。